

授業科目の名称	広報マネジメント（基礎）			（科目コード： 106）
配当年次	1年次・2年次	配当学期	前期	
年間開講数	1回	単位数	2単位	
必修・選択等の別	選択必修	授業の方法	講義	
授 業 科 目 の 内 容				備 考
<p><講義概要> 組織のマネジメントにおいて重要性を高めている広報について、組織体や地域あるいは産業等のステークホルダーとのコミュニケーションとして捉え、その目的から具体的な戦略について、これらを取り巻く環境と併せ、理論と実践から学び、広報戦略策定の基礎を磨く。</p> <p><授業方法> 授業は理論と実践について講義を中心に行うが、代表的な広報マネジメント・ 이슈ーや、折々のホットな広報ツールについては、適切な外部スピーカを交えての講義と議論をおこなう。</p> <p><到達目標> PR・広報計画についての基礎的知識を習得し戦略立案の基礎的フレームを実践できること。</p> <p><評価> 平常点（出席点と授業参画）で60点、レポート・小テストで40点とする。</p> <p><教科書・参考書> 『広報・PR論』有斐閣ブックス(2014年)</p> <p><講義スケジュール> ①オリエンテーション（授業概要の説明） ②広報・PRとは。その目的、機能、活動 ③広報・PRの歴史 時代的背景、広報機能の変遷 ④組織とステークホルダー どのような対象に向けてコミュニケーションするのか？ ⑤広報・PRのマネジメントスコープ 情報収集、分析、情報流設計、組織設計、人事 ⑥マネジメント中核概念としての名声、共感、理解 広報の究極の目的は何か ⑦戦略立案プロセス 環境評価、ステークホルダー、目的設定、プログラム立案 ⑧環境評価とプログラム決定 管渠評価手法、プログラム案策定プロセス ⑨プログラムの実行と評価、課題説明 ⑩メディア環境とその変化 4大メディア、デジタル・メディア、SNS、直接対話 ⑪メディアの特色と選択 広報コミュニケーションの目的でどう使い分けるか ⑫広報組織形態 集中と分散、マトリックス管理、アウトソーシング戦略 ⑬求められる人材とその育成 専門職機能、CCO/CIO的機能、人材流動性 ⑭課題発表 ⑮課題発表・まとめ</p>				<p>【教員】 小早川 護</p>